製品仕様

対応PC		DVI、DVI-Dのディスプレイ出力端子とUSB端子を標準搭載している DOS/Vパソコン、Macintosh、Sun Blade シリーズ（※）（※サポート対象外：Sun Bladeシリーズ）
対応OS		Windows Vista(32bit)/XP(32bit)/2000/Me/98SE、Windows Server 2008(32bit)、 Windows Server 2003(32bit)、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、 Mac OS X 10.3以降、Linux（※）、Sun Solaris V8以降（※）（※サポート対象外：Linux、Sun Solaris）
対応周辺機器	ディスプレイ	DVIディスプレイ
	キーボード	USBキーボード（106/109キーボードに対応）
	マウス	USBマウス
	ヘッドフォン/スピーカ	ステレオミニプラグ接続のヘッドフォン/7.1チャンネルスピーカ
	マイク	ステレオミニプラグ接続のマイク
	USB機器	USB 2.0/1.1対応のUSB周辺機器
取得承認		VCCIクラスB
インタフェース	コンソール側	ディスプレイ：DVI-I（29ピン）メス×1 キーボード：USBシリーズA（4ピン）メス×1 マウス：USBシリーズA（4ピン）メス×1 USB機器：USBシリーズA（4ピン）メス×2 ヘッドフォン：ステレオミニジャック×1 7.1チャンネルスピーカ：ステレオミニジャック×4 マイク：ステレオミニジャック×2 LINE IN：ステレオミニジャック×1
	パソコン側	ディスプレイ：DVI-I（29ピン）メス×2 キーボード/マウス/USB機器：USBシリーズB（4ピン）メス×2 ヘッドフォン/7.1チャンネルスピーカ：ステレオミニジャック×8 マイク：ステレオミニジャック×2 LINE IN：ステレオミニジャック×2
LED		ON LINE/SELECTED（橙）×2、USB LINK（緑）×2
最大解像度		2,560×1,600
切替方法		ポートセレクトボタンによる切り替え、キーボードによるホットキー切り替え
切替音		あり（オン/オフ設定可能）
電源仕様（ACアダプタ）	供給方法	ACアダプタより供給
	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		18W
環境条件	動作時	温度0～40℃／湿度5～80%（結露なきこと）
	保管時	温度－20～60℃／湿度5～80%（結露なきこと）
本体形状		ボックスタイプ
外形寸法		260（W）×75（D）×43（H）mm 本体のみ（突起部を含まず）
質量		860g本体のみ

トラブルシューティング

ここでは、本商品を使用中の代表的なトラブル例とその対処方法について説明しております。以下に挙げたトラブルが発生した場合は、原因と対処方法を参考に正しく設置または操作してください。なお、動作（不具合）に改善が見られない場合は、お客様のご使用環境や不具合状況をご記入のうえ、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。詳しくは「商品に関するご質問は…」をご覧ください。

■キーボードのキー操作ができない

・ケーブルは正しく接続されていますか？
キーボードのケーブルや専用ケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても正常に動作しない場合は、キーボードのケーブルを接続し直してください。

・オートスキャンを実行していますか？
オートスキャンを実行中は特定のキー操作以外はできません。スペースキーまたはEscキーを押して、オートスキャンを終了してください。

・106キーボード／109キーボードを使用していますか？
本商品はDOS/Vパソコン用の106キーボードまたは109キーボードに対応しています。特定のパソコンやアプリケーションに依存するキーや、特別な機能（専用ドライバやユーティリティなど）を持ったキーボードの動作についてはサポート対象外です。また、レジューム・サスペンド機能には対応していません。

・ポートとパソコンの設定は合っていますか？
ポートに接続したパソコンに合わせて、自動設定とMacintoshを選択できます。Macintoshをご使用の場合は、「操作一覧表」の「オプション設定」で設定してください。

・本商品の動作が不安定になっている場合があります
本商品のリセットが必要です。本商品に接続しているすべてのパソコンの電源をオフにして、本商品と取り付けているケーブルを取り外してください。5秒以上待ってから再度接続し直してください。その後、パソコンの電源をオンにしてください。

■キーボードからの切り替え操作ができない

・正しく切り替え操作をしていますか？
正しくキーが押されていない、キーを押す間隔が長すぎる場合があります。

■マウスが動作しない

・ケーブルは正しく接続されていますか？
マウスのケーブルや専用ケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても正常に動作しない場合は、マウスのケーブルを接続し直してください。

・マウスのドライバが正しくインストールされていますか？
ご使用のマウスのドライバが正しくインストールされているか、デバイスマネージャをご確認ください。マウスのドライバのインストール方法やドライバの設定については、ご使用のマウスの取扱説明書をご覧いただくか、マウスの製造元にお問い合わせください。

■ディスプレイの表示がおかしい

・ケーブルは正しく接続されていますか？
ディスプレイのケーブルや専用ケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていても正常に動作しない場合は、ディスプレイのケーブルを接続し直してください。

・選択しているポートに接続したパソコンの電源がオンになっていますか？
パソコンの電源をオンにしてください。

・解像度または周波数帯域の設定が高すぎませんか？
ご使用の解像度または周波数帯域の設定を低くしてください。

■音声が出力されない／音声が入力されない／音声がおかしい

・ケーブルは正しく取り付けられていますか？
ヘッドフォン／スピーカおよびマイクのケーブルや専用ケーブルがそれぞれ正しく接続されているか確認してください。また、本商品の音声出力ポートと専用ケーブルの音声出力端子とパソコンの音声出力ポート（またはヘッドフォン／スピーカポート）が、本商品の音声入力ポートと専用ケーブルの音声入力端子のパソコンの音声入力ポート（またはマイクポート）がそれぞれ正しく接続されているか確認してください。

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。
修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。
・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりませんので、あらかじめご了承ください。
・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記URLに有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

商品に関するご質問は…

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

■お問い合わせ先

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかの方法でお問い合わせください。

〈コレガサポートセンタ〉
メールサポート：下記URLをご覧ください。

http://corega.jp/faq/

FAX 045-476-6294
電話 045-476-6268

〈受付時間〉
10:00～12:00、13:00～18:00　月～金（祝・祭日を除く）
※サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。
※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版OSのみ動作を保証しています。そのため、日本語版OS以外のお問い合せはお受けできませんのでご了承ください。
※サポートセンタへのお問い合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported only in Japanese.
※電話が混み合っている場合は、メールサポートおよびFAXサポートをご利用ください。

■必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。
□ 商品名　□ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
□ お名前、フリガナ　□ 連絡先電話番号、FAX番号
□ 購入店　□ 購入日付
□ お使いのパソコンの機種　□ OS
□ 接続構成　□ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

Copyright©2009 アライドテレシスホールディングス株式会社
coregaは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OSは、Apple,Inc.の登録商標です。
Sun、Sun Blade、Solarisは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。

2008年　10月　初　版
2009年　6月　第二版
PRINTED WITH SOY INK 本書は再生紙を使用しています

Y613-18050-00 Rev.B

corega CG-PC2KDLMCA 取扱説明書

このたびは、「CG-PC2KDLMCA」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書をお読みになり、正しく設置・操作してください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。
使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
例）「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。
例）「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。
感電、発火、火災、故障の原因となります。

付属の電源ケーブルまたはACアダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたはACアダプタをほかの機器に使用しないでください。
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜くときは、ケーブル部を持って抜かないでください。

電源ケーブルまたはACアダプタのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災の原因となります。

アース線を接続してください。
本商品または電源ケーブルにアース端子が付いている場合は、アース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電、けが、火災、故障の原因となります。

本商品（ACアダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品の通風孔から液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。
感電の原因となります。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。
感電の原因となります。

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。
けがの原因となります。

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。
窒息する原因となります。

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。
けが、故障の原因となります。

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品（ACアダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。
・多段積み
・通風孔をふさぐ
・前後左右、上部に十分なスペースがない
内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

本商品を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。
・直射日光のあたる場所
・暖房器具の近くなど高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所
・水などの液体がかかる場所
・振動のある場所
・ほこりの多い場所
・じゅうたんや布団などのある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・台所、浴室、ユニットバス、洗面所など、水気や湿気が多い場所
・天井裏、クローゼットの中など、高温、多湿、風通しの悪い場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
感電、火災、故障の原因となります。

お手入れ可能な場所に設置してください。
本商品（ACアダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

設置または移動するときは、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
感電、火災の原因となります。

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたはACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
火災の原因となります。

本商品に強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

静電気が発生しやすい場所に設置したり、帯電した手で本商品を触らないでください。
感電、故障の原因となります。

商品概要

CG-PC2KDLMCAは1組のキーボード・マウス・ディスプレイ・ヘッドフォン（スピーカ）・マイクで、2台のパソコンを切り替えて操作できるパソコン切替器です。

■USBキーボードに対応
キーボードは最新のUSBで接続できます。DOS/Vパソコン用のキーボードに対応します。

■USBマウスに対応
マウスは応答性の高いUSBで接続できます。多機能マウスに対応します。

■DVIディスプレイに対応
ディスプレイ端子はDVI-I（29ピン）に対応します。解像度は2,560×1,600まで対応します。

メモ　ディスプレイ端子は29ピン（デジタル用24ピン、アナログ用5ピン）に対応していますが、付属の専用ケーブルはデジタルのDVI-D（24ピン）にのみ対応します。

■オーディオは7.1chサラウンドオーディオに対応
音声出力は7.1chサラウンドオーディオに対応します。別途7.1chサラウンドオーディオ対応スピーカを接続することで、臨場感あふれる音を楽しめます。

■USBハブ搭載
さまざまな周辺機器を接続できるUSB 2.0対応のUSBハブを前面と背面合わせて2ポート搭載します。

■キーボードと本体前面のポートセレクトボタンでの切り替えに対応
キーボード操作での切り替えのほか、本体前面のポートセレクトボタンでの切り替えに対応します。

■オートスキャン機能搭載
一定時間で自動的にパソコンを切り替えるオートスキャン機能を搭載、サーバなどの監視に最適です。

■Macintoshに対応
キーボードマッピング機能を搭載し、DOS/Vパソコン用のキーボードでMacintoshキーボードに相当するキー入力に対応します。

■HDCP対応
HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）対応のディスプレイとCOPP(Certified Output Protection Protocol)ドライバ対応のビデオカードを組み合わせることでHDCPに対応します。

注意　視聴中の切り替えには対応しません。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが付属していることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□ CG-PC2KDLMCA　本体
□ ACアダプタ（2極1.5m）
□ 専用ケーブル（1.8m）×2本
□ 専用オーディオケーブル（1.8m）×2本
□ USB-PS/2変換ケーブル（18cm）×1本
□ ゴム足×4個　□ 取扱説明書（本書）
□ 製品保証書

付属の専用ケーブルのDVIコネクタは両端ともDVI-D（24ピン）オスです。

推奨動作環境

本商品は、以下のハードウェア環境を持つパソコンと周辺機器で動作します。

■対応パソコン環境
DVI-IまたはDVI-D対応ディスプレイ出力端子とUSB端子を標準搭載しているDOS/Vパソコン、Macintosh、Sun Bladeシリーズ（※）※サポート対象外：Sun Bladeシリーズ

■対応OS
Windows Vista（32bit）、Windows XP（32bit）、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE、Windows Server 2008（32bit）、Windows Server 2003（32bit）、Windows 2000 Server、Windows 2000 Advanced Server、Mac OS X 10.3以降、Linux（※）、Sun Solaris V8以降（※）
※サポート対象外：Linux、Sun Solaris

■動作に必須の機器
・DVI-IまたはDVI-D対応ディスプレイ×1
・USB対応キーボード×1
・USB対応マウス×1

■必要に応じて用意する機器
・ステレオミニプラグ対応ヘッドフォン×1
・7.1chサラウンドオーディオ
・ステレオミニプラグ対応マイク×1
・USB 2.0対応周辺機器

注意
・本商品の接続には付属の専用ケーブルをご使用ください。
・本商品にはデジタル信号とアナログ信号の変換機能はありません。本商品は規格上アナログ信号に対応しておりますが、サポート対象外となります。付属の専用ケーブルを使用したDVI-D（24ピン）でのデジタル転送のみのサポートになります。
・自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどで増設したパソコンはサポート対象外となります。
・ノートパソコンでは、BIOSやハードウェアの制限により使用できない場合があります。
・NEC PC-9801／PC-9821シリーズには対応していません。
・84キーボード、AT規格キーボードには対応していません。
・DOS/Vパソコン用キーボードに対応します。すべてのポートにMacintoshを接続する場合のみ、Macintosh用キーボードに対応します。
・変換アダプタをご利用の場合、ほかのポートに干渉する場合があります。
・レジューム、サスペンド機能には対応していません。
・音声出力ポートにスピーカを接続する場合、別途アンプおよび外部電源が必要です。
・特定のパソコンやアプリケーションに依存するキー（ワンタッチボタン（※）を含む）や、特別な機能（専用ドライバやユーティリティなど）を持ったキーボード、マウスの動作についてはサポート対象外です。
※ワンタッチボタン：専用キーボードからレジューム機能、インターネット、電子メールソフトウェアなどをワンタッチで起動できるボタン。

メモ　ディスプレイの解像度は2,560×1,600まで対応しています。ただし、ご使用のディスプレイやグラフィックボードによって動作しない場合があります。

本商品の接続・設置

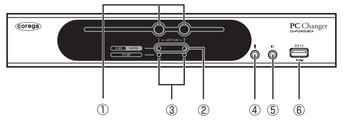
上記の「安全にお使いいただくためにお読みください」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。裏面の「本商品の接続手順」と「接続図」をご覧いただき、正しく接続・設置してください。

注意
・本商品を接続する前に、接続するパソコンとディスプレイの電源を必ずオフにしてください。スピーカと接続する場合は、スピーカを電源をオフにしてください。
・接続の際はコネクタの形状や向きをご確認ください。接続が緩いとコネクタや向きを間違えた場合、端子を破損するおそれがあります。
・接続の際はポートにしっかりと接続してください。しっかりと接続されていないと誤動作を起こしたり、動作が不安定になったりするおそれがあります。
・ケーブルが引っ張られた状態で接続したり、ケーブルの上に物など置いたり、ねじったり、無理に折り曲げたりしないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。

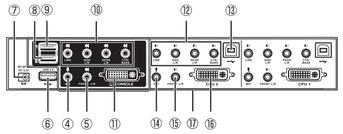
メモ　あらかじめご使用になるキーボード・マウス・ディスプレイの対応機種や対応OSをご確認ください。また、あらかじめキーボード・マウス・ディスプレイがご使用になるパソコンで正常に動作することをご確認ください。正常に動作しない場合は、パソコンやOSの設定、デバイスドライバなどをインストールして、それぞれのパソコン・OSで正しく認識させてください。

各部の名称と機能

■前面



■背面



※文中ではキーボード＝K、ディスプレイ＝V、マウス＝Mと省略します。

①ポートセレクトボタン
本商品のポートを切り替えます。操作方法については、「操作一覧表」をご覧ください。

② ON LINE（SELECTED）LED（橙）
本商品の各ポート状態とKVMの選択状態を表します。
点灯（明）：KVMがポートを選択中です。
点灯（暗）：KVMがポートを未選択です（ポートに接続したパソコンの電源はオン）。
消灯　：KVMがポートを未選択です（ポートに接続したパソコンの電源はオフ）。
点滅　：KVMがオートスキャンでポートを選択中です。

③ USB LINK LED（緑）
USBハブの選択状態を表します。
点灯：USBハブがポートを選択中です。
消灯：USBハブがポートを未選択です。

④コンソール用MIC（ステレオミニジャック）
ステレオミニジャックに対応したマイクなどの音声入力機器を接続するポートです。前面と背面では前面のポートが優先されます。

⑤コンソール用FRONT L/R（ステレオミニジャック）
ステレオミニジャックに対応したヘッドフォンまたはスピーカなどの音声出力機器を接続するポートです。前面と背面では前面のポートが優先されます。

⑥ USBハブ（USBシリーズA）
USB 2.0に対応した周辺機器を接続するポートです。

⑦ DCジャック
付属の専用ACアダプタを接続します。

⑧コンソール用キーボードポート（USBシリーズA）
USBキーボードを接続するポートです。

⑨コンソール用マウスポート（USBシリーズA）
USBマウスを接続するポートです。

⑩コンソール用オーディオポート
各種音声出力ポートです。専用オーディオケーブルでアナログ7.1ch対応音声出力機器に接続できます。
- LINE（青）
  ライン出力機器を接続するポートです。
- SIDE L/R（グレー）
  サイド音声出力機器を接続するポートです。
- REAR L/R（黒）
  リア音声出力機器を接続するポートです。
- CTR/BASS（橙）
  センター音声出力機器を接続するポートです。

⑪コンソール用ディスプレイポート（DVI-I）
DVIディスプレイを接続するポートです。

⑫パソコン側オーディオポート
パソコン側に接続する各種音声出力ポートです。専用オーディオケーブルで7.1chサラウンドオーディオ対応パソコンに接続できます。
- LINE（青）
  ライン出力機器を接続するポートです。
- SIDE L/R（グレー）
  サイド音声出力機器を接続するポートです。
- REAR L/R（黒）
  リア音声出力機器を接続するポートです。
- CTR/BASS（橙）
  センター音声出力機器を接続するポートです。

⑬パソコン側USBポート（USBシリーズB）
付属の専用ケーブルのUSB端子（USBシリーズB）を接続するポートです。

⑭パソコン側MIC（ステレオミニジャック）
専用ケーブルの音声入力端子を接続するポートです。

⑮パソコン側FRONT L/R（ステレオジャック）
専用ケーブルの音声出力端子を接続するポートです。

⑯パソコン側ディスプレイポート（DVI-I）
付属の専用ケーブルのDVI端子（DVI-D）を接続するポートです。

⑰製品ラベル／シリアル番号（底面）
商品名や本商品の各情報が記載されています。
シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへお問い合わせの際に必要となります。

本商品の接続手順

「接続図」をあわせてご覧いただき、次の手順に従って接続してください。

①本商品の各ポートと専用ケーブルの各端子をそれぞれ接続します。専用ケーブルの反対側の端子をご使用のパソコンのディスプレイポート（またはビデオポート）、USBポート、音声出力ポートおよび音声入力ポートに接続します。

メモ　各ポートの位置は、お使いのパソコンによって異なります。

②同様に、もう1台のパソコンを専用ケーブルで接続します。

③キーボードとマウスを、それぞれ本商品背面のコンソール用キーボードポートとコンソール用マウスポートに接続します。

④ディスプレイ・ヘッドフォン・マイクなどを、それぞれ本商品の対応するポートに接続します。

⑤付属のACアダプタを本商品のDCジャックに接続し、ACアダプタをコンセントに接続します。

注意
- 必ず本商品付属の専用ACアダプタをお使いください。付属のACアダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
- 本商品付属の専用ACアダプタは、本商品以外に接続しないでください。

以上で接続は完了です。

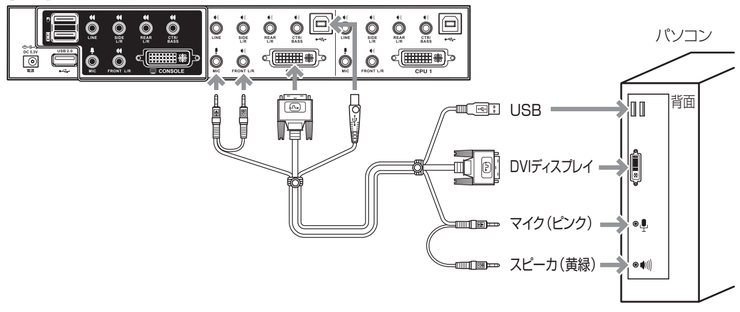
パソコンやディスプレイなどの電源をオンにします。

■USB-PS/2変換ケーブルについて
PS/2キーボード・マウスをお使いになる場合は、付属のUSB-PS/2変換ケーブルを、コンソール用マウスポートまたはコンソール用キーボードポートに接続してください。

接続図

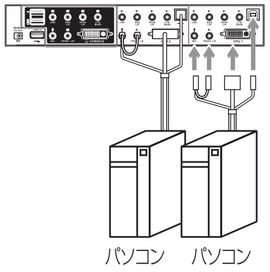
1 本商品とパソコンを専用ケーブルで接続する

【背面】



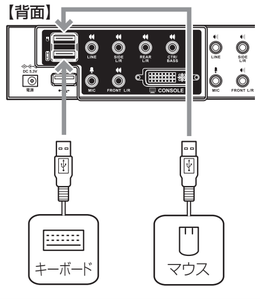
2 ①の手順でほかのパソコンを接続する

【背面】



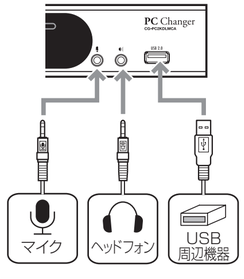
3 キーボード、マウスを接続する

【背面】

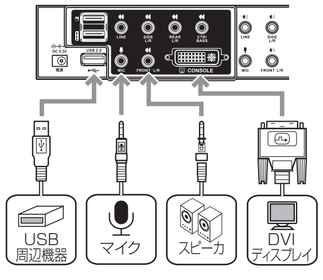


4 ディスプレイなどを接続する

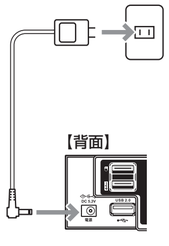
【前面】



【背面】



5 ACアダプタを接続する



本商品の操作方法

■ポートの切り替え方法
本商品の切り替え操作は、本体前面のポートセレクトボタン、またはキーボードのホットキーで操作します。操作方法については、下記の「操作一覧表」をご覧ください。

■オートスキャン機能
オートスキャン機能は、複数のパソコンを一定時間で自動的に切り替える機能です。操作方法については、下記の「操作一覧表」をご覧ください。

メモ　オートスキャンで切り替わるのはディスプレイのみです。キーボード・マウス・オーディオ・USBハブは切り替わりません。

■Macキーボードマッピング機能
Macキーボードマッピング機能を使うと、USB接続のDOS/Vパソコン用109キーボードでMacintoshの英語キーボードに相当する操作ができます。Macキーボードマッピング機能を使用する場合は、下記の「オプション設定」で、選択中のポートに接続されたパソコンのOSをMacに設定してください。109キーボードとMacキーボードの対応表は、下記の「操作一覧表」の「Macキーボードマッピング機能」をご覧ください。

メモ　Macキーボードマッピング機能を使用すると、英語配列になります。また、キー操作の競合を避けるため、ポート切り替え呼び出しを［Scroll Lock］から［Ctrl］に変更することをお勧めします。

■オプション設定
オプション設定では、本商品のさまざまな設定ができます。設定を変更する場合は、下記「操作一覧表」の「オプション設定」欄をご覧ください。

■7.1ch サラウンドオーディオについて
専用オーディオケーブルを使用することで、お使いのアナログ7.1chサラウンドオーディオと接続できます。接続方法は、お使いのオーディオの取扱説明書をご覧になるか、各メーカにお問い合わせください。

トラブルシューティングは裏面をご覧ください

操作一覧表

■ポートセレクトボタン操作

動作内容	ポートセレクトボタン操作
KVMのみを選択したポートに切り替える（※1）	切り替えたいポートのポートセレクトボタンを1回押す
オーディオのみを選択したポートに切り替える	切り替えたいポートのポートセレクトボタンを2回押す
KVM+USBハブ+オーディオを選択したポートに切り替える（※1）（※2）	切り替えたいポートのポートセレクトボタンを3秒以上押す
オートスキャンを開始する（切り替え間隔：5秒）（※1）（※3）	ポートセレクトボタンの1と2を同時に3秒以上押す
（KVMのみを指定したポートに切り替えて）オートスキャンを終了する	（オートスキャン動作中に）切り替えたいポートのポートセレクトボタンを押す

動作内容（オプション設定でポートセレクトボタンの切り替え方法を変更した場合の設定）	ポートセレクトボタン操作
KVM+USBハブ+オーディオを選択したポートに切り替える（※1）（※2）	切り替えたいポートのポートセレクトボタンを1回押す
オーディオのみを選択したポートに切り替える	切り替えたいポートのポートセレクトボタンを2回押す
KVMのみを選択したポートに切り替える（※1）	切り替えたいポートのポートセレクトボタンを3秒以上押す
オートスキャンを開始する（切り替え間隔：5秒）（※1）（※3）	ポートセレクトボタンの1と2を同時に3秒以上押す
（KVM+USBハブ+オーディオを指定したポートに切り替えて）オートスキャンを終了する	（オートスキャン動作中に）切り替えたいポートのポートセレクトボタンを押す

■ホットキー操作

動作内容	ホットキー操作
ポート切り替えを呼び出す	[Scroll Lock] → [Scroll Lock]
KVM+USBハブ+オーディオを次のポートに切り替える（※1）（※2）	（ポート切り替えの呼び出し後）[Enter]
KVMのみを次のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[K] → [Enter]
USBハブのみを次のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[U] → [Enter]
オーディオのみを次のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[S] → [Enter]
KVM+USBハブ+オーディオを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [Enter]
KVMのみを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [K] → [Enter]
USBハブのみを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [U] → [Enter]
オーディオのみを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [S] → [Enter]
KVM+USBハブを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [K] → [U] → [Enter]
KVM+オーディオを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [K] → [S] → [Enter]
USBハブ+オーディオを指定のポートに切り替える（※1）	（ポート切り替えの呼び出し後）[ポート番号] → [U] → [S] → [Enter]
ポート切り替えをしないで終了する	（ポート切り替えの呼び出し後）[Esc] または [Space]
オートスキャンを開始する（切り替え間隔：5秒）（※1）（※3）	（ポート切り替えの呼び出し後）[A] → [Enter]
切り替え時間を指定してオートスキャンを開始する（※1）（※3）	（ポート切り替えの呼び出し後）[A] → [n] → [Enter]（※nは1～99（秒））
（KVMのみを指定したポートに切り替えて）オートスキャンを終了する	（オートスキャン動作中に）[Esc] または [Space]

■オプション設定

動作内容	ホットキー操作
オプション設定を呼び出す	[Num Lock] + [-]
オプション設定の呼び出しを [Num Lock] + [-]（初期設定）か[Ctrl] + [F12]で変更する	（オプション設定呼び出し後）[H]
ポート切り替えの呼び出しを [Scroll Lock] → [Scroll Lock]（初期設定）か [Ctrl] → [Ctrl] で変更する	（オプション設定呼び出し後）[T]
ポートセレクトボタンの切り替え方法を変更する（代替機能）	（オプション設定呼び出し後）[S]
ポート切り替えの呼び出しの有効（初期設定）か無効を設定する	（オプション設定呼び出し後）[X] → [Enter]
切替音のオン（初期設定）かオフを設定する	（オプション設定呼び出し後）[B]
ディスプレイ解像度保持機能をオン（初期値）かオフに設定する	（オプション設定呼び出し後）[D]
選択中のポートに接続されたパソコンのOSをMacに設定する	（オプション設定呼び出し後）[F2]
選択中のポートに接続されたパソコンのOSを自動に設定する（初期設定）	（オプション設定呼び出し後）[F10]
マウスの自動設定機能をオン（初期値）かオフに設定する	（オプション設定呼び出し後）[M]
テキストエディタを起動してから操作し、オプション設定の各状態をテキストに書き出す	（オプション設定呼び出し後）[F4]
USBの状態を初期化する	（オプション設定呼び出し後）[F5]
オプション設定を初期設定に戻す	（オプション設定呼び出し後）[R] → [Enter]
オプション設定を設定しないで終了する	（オプション設定呼び出し後）[Esc] または [Space]

表中ではキーボード＝K、ディスプレイ＝V、マウス＝Mと省略します。
（※1）パソコンの電源がオフのポートにも切り替わります。
（※2）KVMとオーディオが異なるポートを選択している場合は、すべてKVMのポートに切り替わります。
（※3）オートスキャン開始後は、オートスキャンを終了する操作以外はできません。

■Macキーボードマッピング機能

Macキーボード	USB 109日本語キーボード
[shift]	[Shift]
[control]	[Ctrl]
[alt (option)]	[Alt]
[⌘ (command)]	[Windows]
🔈	[Ctrl] → [1]
🔉	[Ctrl] → [2]
🔊	[Ctrl] → [3]
⏏	[Ctrl] → [4]

Macキーボード	USB 109日本語キーボード
[F13]	[Print Screen]
[F14]	[Scroll Lock]
[F15]	[Ctrl] → [Windows]
[=]	[Application]
[return]	[Enter]
[delete]	[Back Space]
[help]	[Insert]